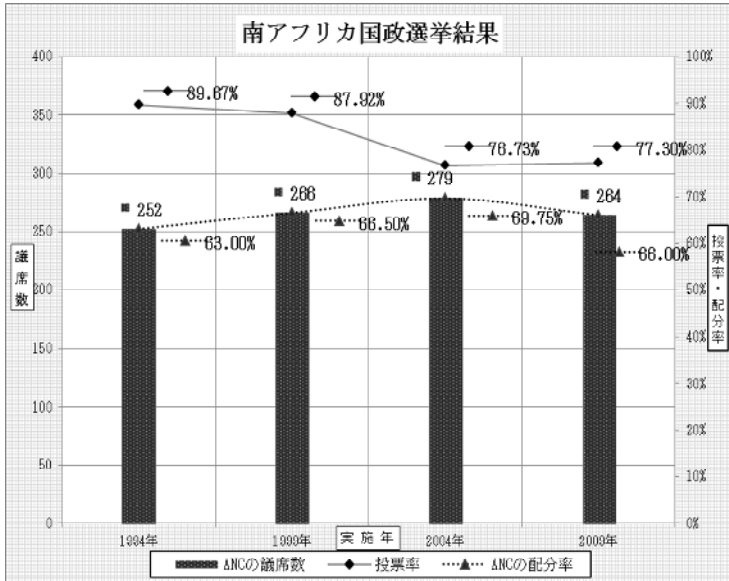


第3回 【アフリカ民族会議 (African National Congress: ANC)】—前編—

2009年4月に実施された、民主南アフリカの第4回国政選挙において、前年(2008年)12月に党内で分裂騒動があったにもかかわらず、ANCは約66%の得票率で圧勝しました。アパルトヘイト政権を担ってきた国民党(NP)は既に消滅し、他の非白人政党も散々な結果に終わった中、ANCの人気の根強さを証明する出来事でした。1994年の初の民主総選挙からの推移は下記をご覧ください。



南アフリカ国政選挙結果

	1994年	1999年	2004年	2009年
有権者数	22,000,000	18,172,751	20,674,923	23,181,997
投票総数	19,726,579	15,977,142	15,863,558	17,919,966
無効票数	193,081	0	250,887	239,237
有効票数	19,533,498	15,977,142	15,612,671	17,680,729
投票率	89.67%	87.92%	76.73%	77.30%
国民議会定数	400	400	400	400
ANCの議席数	252	266	279	264
ANCの得票数	12,237,655	10,601,330	10,880,915	11,650,748
定数に対するANCが占める割合	63.00%	66.50%	69.75%	66.00%

※1994年の有権者数は推定値「朝日新聞 1994年4月26日」から
 ※1994年の投票総数・無効票数・有効票数は「JETRO BOOKS28 南ア新生の現場から 小川秀樹 133頁」から
 ※その他の数値 Independent Electoral Commission, South Africa. <http://www.elections.org.za>
 ※投票率は、投票総数を有権者数で除した値

ANCは、1912年1月8日に設立された、アフリカ大陸で最も古い歴史を持つ、政治団体(政党)です(結成当時はSANNK(南アフリカ原住民民族会議)という名称でした)。

初期のANCは、デモや差別法に反対する陳情運動を行うなどの、非暴力主義を掲げた穏健な、政治団体でした。しかし、白人政府は、1913年に施行された“原住民土地法”を嚆矢に、次々と差別法を成立させていき、黒人を苦しめます。人口の70%を占める黒人は、わずか国土の13%で、痩せて何の産業も無い土地に閉じ込められ、しかも、国内の移動を制限される“パス”を携帯しなければなりませんでした。

そして、1948年、黒人にとって悪夢のような出来事が起こります。『アパルトヘイト政策』を公約に掲げた、国民党(NP)が、政権を握ってしまったのです。

当時のANCは、非暴力の精神を守ろうと懸命でした。1955年6月26日、ANCは人種差別に反対する多人種の「人民会議」の開催を呼びかけ、ジョハネスバーグ近郊のクリップタウンで、人種差別の無い民主南アフリカを目指す、「自由憲章(フリーダム・チャーター)」を採択しました。自由憲章はANCの基本政策として長らく支持されていきます。

国民党の黒人に対する抑圧が強まる中、ANCの有力下部組織である青年同盟は、三名(ネルソン・マンデラ、ウォルター・シスル、オリバー・タンボ)をANCの最高機関である全国執行部のメンバーに選出します。青年同盟は、穏健な陳情運動より、直接行動を目指す考え方を持つ者が多数集まった組織です。

そんな中、1961年、当時のANC議長であった、アルバート・ルツーリ氏に、アフリカ人初のノーベル平和賞が授与されます。ルツーリ氏は敬虔なキリスト者で、非暴力主義者でした。

しかし、黒人に対する弾圧が激しさを増す中、全世界を驚愕させる重大な事件が起こりました。1960年3月21日、ジョハネスバーグ近郊のシャープビルの警察署の前で、パスに反対する抗議行動(もちろん、非暴力だった)を行っていた黒人に向け、警察官が銃を発砲したのです。67名の人が殺害され、しかも、みな背後から狙撃されたのでした【シャープビル虐殺事件】。

1960年は、アフリカ大陸の17カ国が一斉に独立を果たし、“アフリカの年”と称されたのに、南アフリカでは時代に逆らう動きが起きてしまったのでした。

ここに至り、ANCは非暴力主義を放棄し、武装闘争も已むを得ずという考え方に変わっていきます。ウムコント・ウェ・シズウェ(“民族の槍”という意味。通称MK)という軍事部門を設立し、初代指揮官にマンデラ氏が就きました。

しかし、アパルトヘイト政府は、非常事態宣言を発令して対抗し、ANCを活動禁止処分にして、黒人の政治活動を無慈悲に、かつ、徹底的に弾圧していったのでした。ANCを実質的に率いていた、マンデラ氏ら指導者は、地下潜行を余儀なくされます。そんな中、1962年、マンデラ氏率いるANC代表団は、政府の警備の目を掻い潜り、ANCに対する援助を求めるためのイギリスおよびアフリカ大陸を巡る旅に出発していきます。帰国後、不法出国の罪で逮捕されてしまい、また、翌1963年、MKの指導者が一斉に逮捕され、マンデラ氏等は国家転覆罪で終身刑を受け、1964年、あのロベン島に収監されてしまったのでした【リボニア裁判】。

以後、指導者を失ったANCは、冬の時代を過ごさざるを得なくなります。